



熟練の技とこだわり抜いた素材で 洋服を守りたい！

(左から3人目)高橋孝二さん(43歳)



中田工芸(株)(日高町江原)で木製ハンガーを製作している職人の1人、高橋孝二さん。幼い頃から、親戚の木工さんたちを見て育ち、木を扱う仕事に憧れていました。

高橋さんたちが作るハンガーの1つ「NH2」は、世界にまだ知られていない、日本が誇るべき優れた地方産品を海外に広く発信していくプロジェクト「The Wonder 500」(経済産業省)に選ばれました。(経産省)に選ばれました。機械ではなく、南京錠（南京錠）を使った手作業で削り出し、首や肩などの丸みを表現。洋服が型

崩れせず、きれいに掛かる湾曲のハンガーを作るために、98mmのブナ板材を特注するなど、材料からこだわります。

お客さんの「すごく良かった」「洋服がきれいに掛かる」という声で湧く「より多くの人に応えたい!」という気持ちと木への愛情が、職人歴25年の高橋さんの原動力。

「これまで培った経験と技術を次の世代に伝えたい。そしてもっと多くの人に木製ハンガーの良さを知ってもらって、喜んで使ってもらえるようにしたい」と語ります。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲お気に入りの着物を探し城下町にお出掛け

着物レンタル事業のお披露目式 城下町 出石に新たな和の観光素材！

10月7日、着物レンタル事業のお披露目式(主催：但馬國出石観光協会)が、出石ちりめん館(出石町内町)内に新設された「お着替え処 無」で開催され、事業説明や着付け体験が行われました。

城下町の町並みや皿そばなど、和の文化を色濃く残す出石。約10年前から、浴衣や着物などの和装の似合う町づくりを進めています。今回拠点施設ができたことで、年間を通して着物が楽しめる環境を整備。今後は時代衣装(新撰組や坂本竜馬、町娘など)も充実させるということです。

10月26日(月)から通常レンタルを開始。3日までの予約制(着付け込み・大人3千円、子ども2千円)で同協会ホームページから申し込みます。

地域の食材を学んで食べてみよう 秋編 おいしい食材で但馬の魅力を発見！

9月18日、城崎中学校で「地域の食材を学んで食べてみよう 秋編」(主催：豊岡市商工会青年部 城崎支部)が開催され、同校1年生29人と同支部員約30人が地域の食材を共に学び調理しました。

講演では、生産者らが豊岡で生産されたブドウやナシ、お米などを説明。調理実習では、但馬で生産された野菜や肉、お米、果物などで、秋野菜のサラダや但馬ポークの肉料理を調理しました。

同支部地域振興委員長の齋藤信彦さんは「地域の知らない食材や大人との触れ合いから、地域の魅力を発見してほしい」と期待を込めていました。

10月31日(土)の同校文化祭では、1年生が地域の「食」をテーマにした発表を予定しています。



▲生徒と支部員が協力した調理実習



「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。